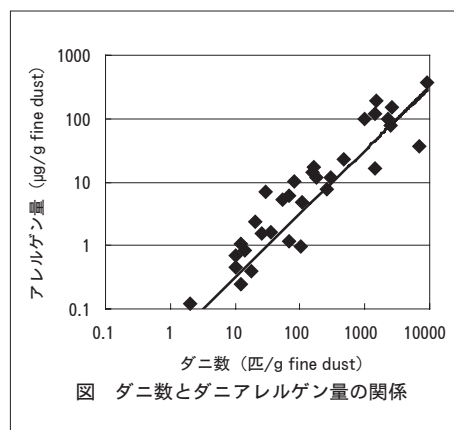


## 用語

日本語：ダニアレルゲン 英語：house dust mite allergen

【定義】 ダニに含まれるアレルギーを引き起こす原因物質をいう。

【絵解き】 図はチリダニ(コナヒョウヒダニ)を飼育室で飼育した時のチリダニ数と糞由来のダニアレルゲン(Der f 1)の関係を示した一例で、このようにダニが増えるとアレルギー量も増えるのが一般的である。



【説明】 住居内にはいろいろなダニが生息しているが、特にチリダニは生息数が多いため、チリダニに由来する糞、死がい、抜け殻は喘息、アトピー性皮膚炎、鼻炎などアレルギー疾患の大きな原因になる。チリダニにはコナヒョウヒダニとヤケヒョウヒダニの代表的な種がある。前者は糞由来のDer f 1, 虫体由来のDer f 2のアレルゲン成分を有し、後者は糞由来のDer p 1, 虫体由来のDer p 2のアレルゲン成分を有している。

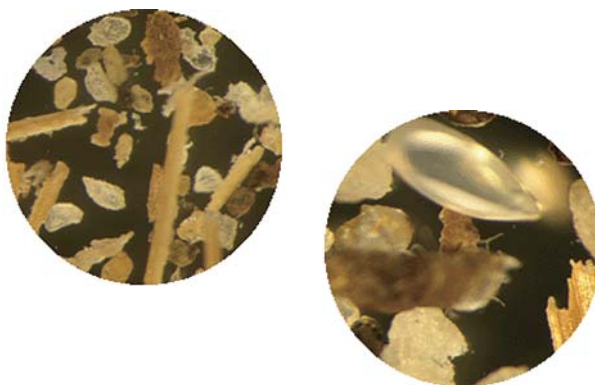
【解説者】 氏名：竹田 茂 所属：神奈川県衛生研究所

## 用語

日本語：室内塵 英語：house dust

【定義】 床や棚に層を作り、ベッドやクッションに侵入する、原則として $10^{-3}$ ~1mm粒径の微粒子の集合体(ブロンスウィック著(森谷清樹訳)「ハウスダストの生物学」西村書店 より)。

【絵解き】 日本家屋から採取した室内塵の実体顕微鏡写真。右, 250~500 $\mu$ m, 左, 100~250 $\mu$ m粒径。どちらも倍率56倍画像。



【説明】 室内塵は室内空気中に浮遊するダストのうち、床・棚等上に沈降したものをさす。室内塵はさまざまな無機物、有機物の混合物であると考えられているがその実態はまだ明らかではない。家屋によってその組成が大きく異なることが想像される。ダニ、シラミ、カビなどの生物由来の成分がアレルギー等の疾病の原因となるものと疑われているほか、有害化学物質を含むことがある。

【解説者】 吉永 淳 所属：東京大学

**用語** | 日本語：殺菌・滅菌・無菌 英語：sterilization

- 【定義】 殺菌作用(bactericidal action)：細菌を死滅させるに至る工程あるいは方法を殺菌という。どの程度の細菌が死滅するかを表すものではないが、滅菌と混同して使われている場合がある。
- 滅菌(sterilization)：総ての微生物を殺滅することを云う。
- 無菌(germfree,sterile,sterility)：滅菌処理あるいは除菌処理によって、生存する微生物が存在しない状況を言う。
- 無菌操作(aseptic procedure)：安全キャビネットやクリーンベンチを用いて無菌の下で試験菌の移植等を無菌的に行うことを云う。
- 【説明】 試験環境を除菌により無菌状態とするためには、空気をHEPAフィルタのような装置を通過させて0.3 $\mu$ m粒子で99.93%以上除去して、限りなく無菌に近づける方法がある。
- 除菌によらない場合は、オートクレーブや紫外線等の物理的殺菌法を用いるか、消毒薬等の薬剤を用いて殺菌あるいは消毒を行い、完全に殺菌されていることを確認して滅菌状態と判断する。
- 滅菌状態を確認するためには、BI(バイオロジカルインジケータ)がある。
- 【解説者】 氏名：奥田舜治 所属：財団法人北里環境科学センター